

# 薬物乱用

## ダメ、絶対

26日の国際麻薬乱用

撲滅デーを前に、鳥取

市民会館で薬物乱用の

危険性を考える「ダメ、

ゼンタイ。普及運動と

つとめ大会」が23日に

開かれた。講演や紙芝

居などを通して参加者

が薬物依存の恐ろしさ

や命の大切さを学ん

だ。

鳥取県や県薬物乱用

対策推進本部などが主

催し、教育関係者や薬

物乱用防

止指導員、

鳥取城北高校

の3年生など約300

人が参加した。

講演では、依存症が

らの回復を目指す民間

施設「鳥取タルク」の

千坂雅浩理事長と20代

の入寮者らが、依存症

になった経緯を告白。

「意識がないままに車

を運転し、近所の家に

### ◆県など普及運動◆

### 鳥取城北高生ら学ぶ

突っ込んだ。「家

族の目の前で逮捕され

た」と打ち明け、薬物

の恐ろしさを訴えた。

千坂代表は「一度で

も使うと、一生の間薬

を使いたい」という気

持ちと戦わないといは

なくなる」と指摘。「誰

にでも救いさや不安は

あるが、薬に逃げずに

家族や友達といった絆

の中で癒やしてほしい

い」と語り掛けた。

このほか大会では、

紙芝居師の松村宏さん

による薬物乱用防止紙

芝居「悪魔の遊園地」

が上演されたほか、鳥

取城北高3年の荒木萌

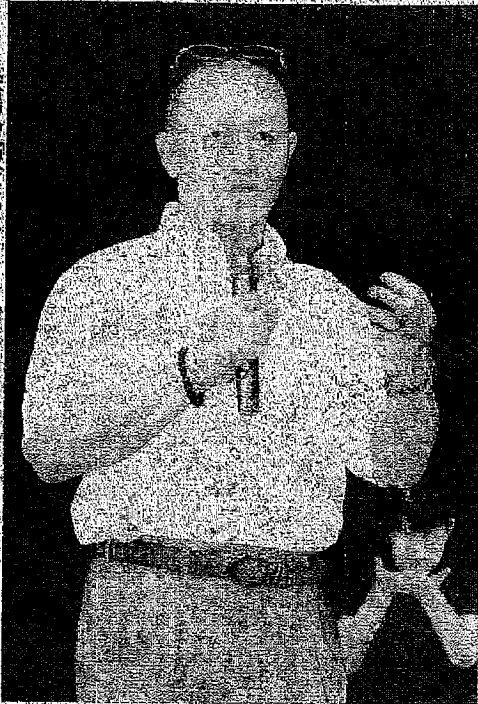
美さん(17)と杉本尚也

さん(18)が「薬物乱用

を絶対に許さない」と

大会宣言を読み上げ

た。(浜田匡史)



会場の高校生を前に、自身の体験を語る千坂理事長

平成 26 年 6 月 26 日 (木)

日本海新聞掲載記事